

## チーム医療リテラシー

責任者・コーディネーター	人間科学科心理学・行動科学分野 相澤 文恵 准教授		
担当講座・学科(分野)	医学教育学分野、人間科学科心理学・行動科学分野、緩和医療学科、人間科学科文学分野、衛生学公衆衛生学講座、細胞生物学分野、分子医化学分野、感染症学・免疫学分野、情報伝達医学分野、機能病態学分野、衛生学公衆衛生学講座、法医学講座、腫瘍生物学研究部門、歯科保存学講座う蝕治療学分野、補綴・インプラント学講座、口腔医学講座予防歯科学分野、解剖学講座機能形態学分野、解剖学講座発生生物・再生医学分野、生理学講座病態生理学分野、生化学講座細胞情報科学分野、微生物学講座分子微生物学分野、病理学講座病態解析学分野、薬理学講座病態制御学分野、医療工学講座、分子細胞薬理学講座、微生物薬品創薬学講座、創剤学講座、臨床薬剤学講座、地域医療薬学科		
担 当 教 員	佐藤 洋一 教授、相澤 文恵 准教授、木村 祐輔 特任教授、平林 香織 教授、佐々木 亮平 助教、古山 和道 教授、村木 靖 教授、増田 友之 教授、前沢 千早 特任教授、近藤 ゆき子 講師、田鎖 愛理 講師、高宮 正隆 講師、柊 一毅 助教、千田 弥栄子 助教、玉田 泰嗣 助教、岸 光男 教授、阿部 晶子 准教授、藤村 朗 教授、原田 英光 教授、成田 欣弥 講師、客本 齊子 特任准教授、石河 太知 助教、武田 泰典 教授、田村 晴希 講師、齋藤 設雄 講師、弘瀬 雅教 教授、西谷 直之 講師、松浦 誠 講師、杉山 育美 助教、富田 隆 准教授、佐藤 淳也 講師、高橋 寛 教授、藤澤 美穂 助教		
対象学年	3	区分・時間数	講義 12.0 時間
期 間	前期		

### ・学習方針（講義概要等）

専門職連携教育(Inter Professional Education)の一環として、初年次での「多職種連携入門 (PBL)」での経験を踏まえ、3年次では医療における多職種の役割を理解することを目的とする。患者中心の医療を実現するために、これまでの教養教育・専門教育での知識や経験を生かし、さらに、患者の疾病段階に応じたサポート体勢がどのような職種によるチームによって形成されるのかを、講義と医学・歯学・薬学の学生によるアクティブラーニングを通じて学修する。また、立場のことなるメンバーが集まったグループにおいて、一つの判断や結論を出すワークを行うことで、他者の意見を傾聴し、他者の価値観に配慮したうえで自己の意見を主張するスキルを学修し、チーム医療に必要なコミュニケーションの在り方や方法を理解する。

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

### ・教育成果（アウトカム）

専門教育途上にある学生が、他の学部学生とともに患者の疾病の段階に応じた多職種の役割について学び、討議することで、命を預かる医療人として患者や他の職種を尊重する意識を身につけ、今後の医療知識獲得や臨床実習実践をより一層意欲的に行う覚悟を持つ。アクティブラーニングを通して、立場のことなるメンバーの意見を傾聴し、また、自分の意見をわかりやすく説明することを学修し、多様な価値観を尊重し、他者を畏敬する謙虚な気持ちを維持することができる。あわせて、生涯にわたってコミュニケーション能力をブラッシュアップするための要点をつかむ。

・到達目標（SBO）

1. 患者の疾病段階に応じた多職種連携協働に関わる各職種、行政の役割について説明できる。
2. 医学・歯学・薬学のそれぞれの立場で、チーム医療について考え、誠の医療人として何をなすべきかを見定めることができる。
3. 自分の価値観や判断の仕方を再認識し、他者の価値観を理解することができる。
4. 適切な手段により自分の考えや感情を相手に伝えることができる。
5. 他者の意見を尊重し、協力してよりよい解決法を見出すことができる。
6. グループダイナミクスについて説明することができる。

・講義日程

（矢）大堀記念講堂他

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
5/31	火	3	医学教育学分野 衛生学公衆衛生学講座	佐藤 洋一 教授 佐々木 亮平 助教	医療教育における多職種 連携教育の意義 災害時医療における多職 種連携の実際 (大堀記念講堂)
5/31	火	4	分子細胞薬理学講座	弘瀬 雅教 教授	薬害被害者の声をきく— 全国子宮頸がんワクチン 被害者連絡会事務局長池 田利恵先生をお迎えして (大堀記念講堂)
6/7	火	3	心理学・行動科学分野	相澤 文恵 准教授	行動科学講義 医療における行動科学 医療に関わる多職種 (大堀記念講堂)
6/7	火	4	心理学・行動科学分野 緩和医療学科 衛生学公衆衛生学講座 細胞生物学分野 分子医化学分野 感染症学・免疫学分野 情報伝達医学分野 衛生学公衆衛生学講座 機能病態学分野 腫瘍生物学研究部門 歯科保存学講座う蝕治療学分野 補綴・インプラント学講座 口腔医学講座予防歯科学分野 解剖学講座機能形態学分野 解剖学講座発生生物・再生医学分野	相澤 文恵 准教授 木村 祐輔 特任教授 佐々木 亮平 助教 枘 一毅 助教 古山 和道 教授 村木 靖 教授 近藤 ゆき子 講師 田鎖 愛理 講師 増田 友之 教授 前沢 千早 特任教授 千田 弥栄子 助教 玉田 泰嗣 助教 岸 光男 教授 藤村 朗 教授 原田 英光 教授	疾病段階に応じた多職種 の役割 WS

			生理学講座病態生理学分野 生化学講座細胞情報科学分野 微生物薬品創薬学講座 創剤学講座 創剤学講座 臨床薬剤学講座 臨床薬剤学講座 地域医療薬学科	成田 欣弥 講師 客本 齊子 特任准教授 西谷 直之 講師 松浦 誠 講師 杉山 育美 助教 富田 隆 准教授 佐藤 淳也 講師 高橋 寛 教授	
6/14	火	3	緩和医療学科	木村 祐輔 特任教授	緩和医療論講義 (大堀記念講堂)
6/14	火	4	緩和医療学科 心理学・行動科学分野 細胞生物学分野 分子医化学分野 情報伝達医学分野 衛生学公衆衛生学講座 機能病態学分野 法医学講座 腫瘍生物学研究部門 歯科保存学講座う蝕治療学分野 補綴・インプラント学講座 口腔医学講座予防歯科学分野 微生物学講座分子微生物学分野 病理学講座病態解析学分野 薬理学講座病態制御学分野 医療工学講座 微生物薬品創薬学講座 創剤学講座 創剤学講座 臨床薬剤学講座 臨床薬剤学講座 地域医療薬学科	木村 祐輔 特任教授 相澤 文恵 准教授 枅 一毅 助教 古山 和道 教授 近藤 ゆき子 講師 田鎖 愛理 講師 増田 友之 教授 高宮 正隆 講師 前沢 千早 特任教授 千田 弥栄子 助教 玉田 泰嗣 助教 阿部 晶子 准教授 石河 太知 助教 武田 泰典 教授 田村 晴希 講師 齋藤 設雄 講師 西谷 直之 講師 松浦 誠 講師 杉山 育美 助教 富田 隆 准教授 佐藤 淳也 講師 高橋 寛 教授	緩和医療 WS
6/21	火	3	医学教育学分野 心理学・行動科学分野 緩和医療学科 人間科学科文学分野 衛生学公衆衛生学講座 分子細胞薬理学講座 細胞生物学分野 分子医化学分野 感染症学・免疫学分野 情報伝達医学分野 衛生学公衆衛生学講座 機能病態学分野 法医学講座 腫瘍生物学研究部門 歯科保存学講座う蝕治療学分野 補綴・インプラント学講座 口腔医学講座予防歯科学分野	佐藤 洋一 教授 相澤 文恵 准教授 木村 祐輔 特任教授 平林 香織 教授 佐々木 亮平 助教 弘瀬 雅教 教授 枅 一毅 助教 古山 和道 教授 村木 靖 教授 近藤 ゆき子 講師 田鎖 愛理 講師 増田 友之 教授 高宮 正隆 講師 前沢 千早 特任教授 千田 弥栄子 助教 玉田 泰嗣 助教 岸 光男 教授	WS 発表会 (キャンパスモール)

			口腔医学講座予防歯科学分野 解剖学講座機能形態学分野 解剖学講座発生生物・再生医学分野 生理学講座病態生理学分野 生化学講座細胞情報科学分野 微生物学講座分子微生物学分野 病理学講座病態解析学分野 薬理学講座病態制御学分野 医療工学講座 微生物薬品創薬学講座 創剤学講座 創剤学講座 臨床薬剤学講座 臨床薬剤学講座 地域医療薬学科 心理学・行動科学分野	阿部 晶子 准教授 藤村 朗 教授 原田 英光 教授 成田 欣弥 講師 客本 齊子 特任准教授 石河 太知 助教 武田 泰典 教授 田村 晴希 講師 齋藤 設雄 講師 西谷 直之 講師 松浦 誠 講師 杉山 育美 助教 富田 隆 准教授 佐藤 淳也 講師 高橋 寛 教授 藤澤 美穂 助教	
6/21	火	4	人間科学科文学分野	平林 香織 教授	多職種連携医療の現場から一県立大船渡病院緩和医療科長村上雅彦先生をお迎えして (大堀記念講堂)

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	「チーム医療」とは何か—医療ケアに生かす社会学からのアプローチ	細田満知子	日本看護協会出版会	2012

・成績評価方法

提出物（70%）とワークショップへの参加態度（30%）により総合的に判断する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	書画カメラ・DVD プレーヤーセット（エルモ、東芝他）	1	講義資料の提示